

2020年度の評価まとめと今後取り組むべき課題

●園生活の環境の在り方、時間の流れ、活動内容の見直しと、豊かなモンテッソーリ教育の実現について

保育環境、保育時間の流れなど、全面的に改良した。子どもの活動、動線を考え、部屋の使い方を考え直すと落ち着いて過ごせるようになった。コロナ禍の行事を進めるのに職員間の話し合いは必須である。意見交換を更に気軽にできるとよい。

今までのモンテッソーリ教育に新しい取り組みと改善をした。職員研修をし、共通理解を深めるとともに、それを丁寧に子どもたちに示すことをこころがけた。

また、基本である挨拶、身だしなみを整えることを職員も良い見本となるように心がけ、自然に身につくことを目標とした。

●コロナ禍の中保護者の方と立ち話は控え、連絡帳を活用し、ホームページに普段の様子の子の写真を掲載したのは好評だった。

しかし保護者の方は仕方ないとはいえ、もっと園での様子を聞きたいとの声が多数あった。

●未就園児活動について

未就園児活動において、『ひかりぐみ』『ぶちまりあ』ともに多数の問い合わせと参加があった。

緊急事態宣言中はやむ無く中止したが、解除後園庭で密を避けるなどの対策を行い再開したことを喜んでいただけた。

来年度は形式を変えて、もっと気軽に申し込みと参加ができるようにした。

2020 年度学校関係者評価

●評価について

・コロナ禍での1年だったが、少人数の強みを生かして、出来ることを考え、形態を変えて、楽しく過ごせるように、日々の保育や行事を実行し、子どもの喜ぶ姿が多く見られた。

・仕事を持つ保護者にとって、バス送迎日数の安定、預かり保育の日数増加、時間延長は安心感へとつながった。

・担任の先生だけでなく、子どもたちの会話から先生方全員で子どもたちを見守って下さっていることがわかりました。

・コロナ禍で、保護者が園に行く機会が少なくなったが、ホームページで普段の様子の子の写真を載せてくださり良かった。

・モンテッソーリ教育のもと、感謝する心、思いやる心、ささげる心をもつ人になれるよう、子どもの心根を育てていただきました。

・避難訓練では地震、火災、津波、不審者それぞれ、どの様に避難するのか、子どもにわかりやすい約束、言葉で伝えて下さっていた。

●ご意見ご提案など

・夏、ほぼ毎日の水遊びは、子どもたちが楽しめるように工夫され、存分に楽しめた。

・今年度より取り組み始めたマラソンは体力づくりができ良かった。

・聖母祭のおさげの花、運動会のメダル等手作りの物で温かみがあった。